

参加申込について

1 参加申込の方法

<お願い>

日頃から、本教職大学院の活動に御理解・御協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

今年度、新型コロナウイルス感染症が県内でも拡大し、10月31日の中間報告会は、急遽 Zoom によるオンラインで実施いたしました。その際、参加申込みをされた方々へはメールにて連絡を差し上げ、Zoom による報告会に御参加いただきました。

現在、青森県総合学校教育センターを会場に実施する予定で計画を進めておりますが、まだ、新型コロナウイルスの流行が収束しておらず、感染の状況によっては、オンラインでの実施となる可能性もあります。

そこで、実施方法が変更になった場合に、参加を希望された方々へ連絡を差し上げるために、**メールでのお申し込み**のみとさせていただきたいと思っております。また、Zoom による発表会の会場に御入場いただくための URL をお送りする関係上、**個人によるお申し込み**とさせていただきますことを御了承願います。

参加を希望される方は、メールにて、「**教育実践研究発表会参加**」のタイトルで、**①所属、②職名、③お名前、④メールアドレス、⑤参加形態**を御記入の上、下記担当までお申し込みいただきますようお願いいたします。受領の返信をさせていただきます。

⑤参加形態（参加可能な実施方法、発表会等）について

【参加可能な実施方法の別】	【発表会等】
1 県総合学校教育センターで実施の場合のみ	A 1年次院生年次報告会
2 Zoom によるオンラインで実施の場合のみ	B 全体会
3 いずれの実施の場合でも参加可能	C 2年次院生最終報告会

※（例）いずれの実施でも参加可能で、「1年次院生報告会」、「全体会」、「2年次院生最終報告会」に参加される場合は、
⑤3-ABC と御記入願います。

担 当	締 切 日
弘前大学教職大学院 天坂 文隆 Email: ften1458@hirosaki-u.ac.jp TEL: 0172-39-3410	令和3年1月20日（水）

2 Zoom による実施となった場合

万が一、Zoom による実施となった場合には、次の環境を御準備いただくことになります。

①PC ②スピーカー（もしくはイヤホン）・マイク・カメラ ③メール受信が可能な環境（Wi-Fi 等）（URL を送信するため）

また、御参加いただくためには Zoom を事前にダウンロードしていただく必要があり、そのための説明の文書をメールでお送りするとともに、トラブルへの対応も準備いたします。

2020年度

弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻〔教職大学院〕

教育実践研究発表会

1年次院生は、研究課題について経過報告し、2年次院生は、研究課題解決のための最終報告をします。

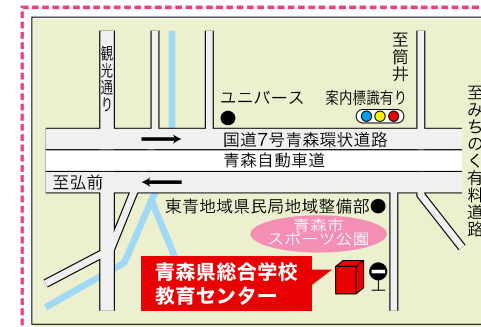
日 時 令和3年 2月12日（金）

会 場 青森県総合学校教育センター

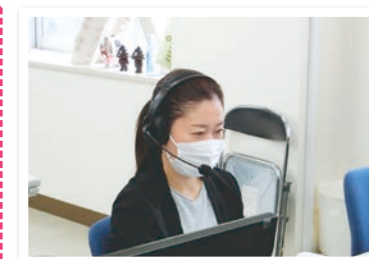
〒030-0123 青森市大矢沢字野田80-2
TEL: 017-764-1997

参加費
無料
事前申込をお願い
します

※新型コロナウイルス感染症の感染の状況によっては、Zoom によるオンラインでの実施となることもあります。



青森駅より青森市営バス
（4番乗り場、学校教育センター行き、
7:43, 8:32, 11:53, 12:42発）で約30分



【次 第】

- 1 1年次院生年次報告（10:00～11:36, CAD・CG研修室, 第4研修室, 第2研修室）
- 2 全体会並びに進学説明会（12:20～12:55, 大研修室, 第6研修室）
- 3 2年次院生最終報告（13:10～16:37, CAD・CG研修室, 産業教育研修室, 第4研修室, 第2研修室）
- 4 閉会行事（16:45～17:00, 大研修室）

☆今年度は、新型コロナウイルス感染症対応のため、情報交換会は中止いたします。

*昼食は、青森県総合学校教育センターの食堂を利用することもできます。

主 催 弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻〔教職大学院〕
共 催 青森県教育委員会
問い合わせ 弘前大学〔教職大学院〕入試フォローアップ部会 天坂 文隆
TEL: 0172-39-3410 Email: ften1458@hirosaki-u.ac.jp

令和２年度 教育実践研究発表会開催要項

１ 日 程

9:30～10:00	10:00～11:36	11:36～12:20	12:20～12:55	13:10～16:37	16:45～17:00
受 付	１年次院生 年次報告	昼食・休憩	全体会 進学説明会	２年次院生 最終報告	閉会行事

２ 発表会次第

（１）受 付 9：30～10：00

（２）１年次院生年次報告 （※参加者は、移動して各コース・各室での院生の報告聴取が可能）

	学校教育実践・教科領域実践・特別支援教育実践コース	
	室 名	CAD・CG 研修室（３F）
順\	時 間	氏 名（校種）
1	10：00～10：15	佐 藤 絢 音（小）
2	10：18～10：33	鳥 山 純 大（小）
	10：33～10：43	休 憩
3	10：43～10：58	笹 原 佳 華（特）
4	11：01～11：16	澤 田 有 里（高）
	11：16～11：36	講評（大成小学校長）

※報告12分，質疑3分

（※参加者は、移動して各コース・各室での院生の報告聴取が可能）

	ミドルリーダー養成コース		
	室 名	第4研修室（２F）	第2研修室（２F）
順\	時 間	氏 名（校種）	氏 名（校種）
1	10：00～10：15	六 角 健 太（特）	阿 部 哲 人（中）
2	10：18～10：33	相 馬 昌 文（小）	齋 藤 朗（中）
	10：33～10：43	休 憩	
3	10：43～10：58	木 村 忍（高）	澤 田 夕香子（中）
4	11：01～11：16	佐 藤 雄 大（高）	山 本 隼 人（中）
	11：16～11：36	講評（教職大学院教員）	講評（三内中学校長）

※報告12分，質疑3分

（３）昼食・休憩 11：36～12：20

（４）全 体 会 12：20～12：55 大研修室

- ① 挨拶 福島 裕敏 弘前大学大学院教育学研究科長
② 挨拶 和嶋 延寿 青森県教育委員会教育長
③ 研究報告 吉田 美穂 弘前大学教職大学院准教授

「県及び中核市教育委員会と教職大学院の連携による育成指標に対応したミドルリーダー世代の研修」

※学部生対象進学説明会（①②の後、第6研修室へ移動）～12：55 第6研修室

（５）２年次院生最終報告 （※参加者は、移動して各コース・各室での院生の報告聴取が可能）

	教 育 実 践 開 発 コ ー ス		
	室 名	CAD・CG 研修室	産業教育研修室（３F）
順\	時 間	氏 名（校種）	氏 名（校種）
1	13:10～13:37	谷 垣 花（養）	一 戸 萌 里（中）
2	13:40～14:07		山 田 啓 明（中）
3	14:10～14:37	藤 澤 麻衣子（養）	金 田 宏 樹（高）
	14:37～14:50	休 憩	
3	14:50～15:17	古 川 弘 基（小）	佐 藤 皓 一（高）
4	15:20～15:47	須 藤 大 貴（小）	蛸 嶋 亮 介（高）
5	15:50～16:17	米 田 雄 人（小）	成 田 伊 織（高）
	16:17～16:37	講評（教職大学院教員）	講評（弘前中央高校長）

※報告20分，質疑7分

（※参加者は、移動して各コース・各室での院生の報告聴取が可能）

	ミドルリーダー養成コース		
	室 名	第4研修室	第2研修室
順\	時 間	氏 名（校種）	氏 名（校種）
1	13：40～14：07	原 田 正 樹（小）	葛 西 昌 平（中）
2	14：10～14：37	坂 本 小百合（小）	花 田 美 衣（中）
	14：37～14：50	休 憩	
3	14：50～15：17	野 呂 和 也（高）	木 村 千 穂（中）
4	15：20～15：47	平 田 貴 和（高）	工 藤 清 和（特）
	15：47～16：07	講評（蓬田小学校長）	講評（教職大学院教員）

※報告20分，質疑7分

（６）閉会行事 16：45～17：00 大研修室

- ① 謝 辞 米田 雄人（２年次教育実践開発コース院生代表）
平田 貴和（２年次ミドルリーダー養成コース院生代表）
② 挨拶 中野 博之 弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻長

３ 院生研究テーマ（学籍番号順）

◆１年次学校教育実践・教科領域実践・特別支援教育実践コース院生

- ① 笹原 佳華…他者とのかかわり，主体的に活動に取り組むことを目指した授業づくり
② 佐藤 絢音…インクルーシブ教育を意識した授業の在り方についての一考察
③ 澤田 有里…高等学校体育における主体的・対話的で深い学びに関する一考察
④ 鳥山 純大…道徳的な主体性の涵養を目的とした「考え、議論する道徳」研究

◆１年次ミドルリーダー養成コース院生

- ① 阿部 哲人…全校体制で取り組む体力・健康づくりの在り方について
② 木村 忍…確かな「数学的な見方・考え方」の育成を目指した取り組みについて
③ 齋藤 朗…「組織としての学校」の力を高めるための校内研修の在り方
④ 佐藤 雄大…農業科における「逆向き設計」型授業実践と学習評価に関する研究
⑤ 澤田夕香子…地域づくりに参画する態度を育む「ふるさと学習」
⑥ 相馬 昌文…望ましい行動を引き出す学習環境づくりと児童の規範意識の育成について
⑦ 山本 隼人…生徒の社会性を育み、学校適応感を高めるための取組について
⑧ 六角 健太…特別支援学校高等部における卒業後に体力の維持・向上に努めるための一考察

◆２年次教育実践開発コース院生

- ① 一戸 萌里…中学校国語科における「言葉による見方・考え方」を働かせる単元学習の研究
② 金田 宏樹…高等学校における地理的な見方・考え方を働かせる地理教育
③ 古川 弘基…伝え合う力を高める国語科学習指導
④ 佐藤 皓一…高等学校「現代社会」における公民的資質の向上
⑤ 須藤 大貴…児童が主体的に取り組む小学校音楽科の授業づくり
⑥ 蛸嶋 亮介…生徒の語彙能力を高める英語授業の在り方
⑦ 谷垣 花…保健室前廊下の掲示物を活用した保健指導のあり方について
⑧ 成田 伊織…生徒一人ひとりが主体的に取り組むための授業のあり方
⑨ 藤澤麻衣子…保健室における救急処置時の個別の保健指導のあり方
⑩ 山田 啓明…「考えの形成」を豊かにする国語科学習指導
⑪ 米田 雄人…児童がお互いの考えを共有し、多様性を認め合う道徳科の授業づくり

◆２年次ミドルリーダー養成コース院生

- ① 葛西 昌平…校内教員集団に対する指導技術の継承に関する考察
② 木村 千穂…小学校の外国語活動での学びを生かした中学校の授業づくり
③ 工藤 清和…特別支援学校（知的障害）における普通科と専門学科を併設した高等部の教育課程の在り方に関する研究
④ 野呂 和也…数学科組織としての授業改善を目指した研修体制の一考察
⑤ 花田 美衣…中学校における通常の学級と通級指導教室の連携の在り方
⑥ 原田 正樹…小規模校における教員相互の指導力向上を目指した取組
⑦ 平田 貴和…ALTの活用に重点を置いた外国語指導
⑧ 坂本小百合…学級担任だからできる外国語活動・外国語科の授業づくり